

# 民生委員制度 創設100周年記念誌

抜粋

支えあう 住みよい社会 地域から



©大田区



大田区民生委員児童委員協議会

# 目 次

1	あいさつ 挨拶 大田区民生委員児童委員協議会会長 おおた く みんせい いん じ どう い いんきょうぎかい かいちよう	ひらいし 昭夫 あき お	1
2	きこう 寄稿 .....		2
	おおた くちよう 大田区長 おおた く ぎ かいぎちよう 大田区議会議長 とうきやう と みんせい じ どう い いんれんごうかい かいちよう 東京都民生児童委員連合会会長 おおた く じ ち かいれんごうかい かいちよう 大田区自治会連合会会長 おおた く しゃかいふくし きやうぎかい かいちよう 大田区社会福祉協議会会長 おおた く みんせい いん じ どう い いんきょうぎかい 大田区民生委員児童委員協議会 第11代会長 おおた く みんせい いん じ どう い いんきょうぎかい 大田区民生委員児童委員協議会 第12代会長 おおた く みんせい いん じ どう い いんきょうぎかい 大田区民生委員児童委員協議会 第13代会長 おおた く みんせい いん じ どう い いんきょうぎかい 大田区民生委員児童委員協議会 第14代会長	まつばら 松原 ただよし 忠義 おおもり 大森 あきひこ 昭彦 てら だ 寺田 あきひろ 晃弘 お ぼら 小原 こういち 洪一 なかじま 中島 す み 寿美 えのもと 榎本 ひさお 久雄 は た の けんいちろう 波田野健一郎 おおわ 大和田 だ けい ち 圭一 よし の たかお 吉野 鷹夫	
3	おおた く とりく しやうかい 大田区の取組み紹介 .....		10
4	ちく かつどうしやうかい 18地区の活動紹介 .....		16
5	みんせい いんせい ど れきし 民生委員制度の歴史 .....		52
6	これからの100年に向けて .....		54





「民生委員制度創設100周年記念誌の発行にあたり」

大田区民生委員児童委員協議会  
会長 平石 昭夫

本年、民生委員制度は創設100周年という1世紀の大きな節目を迎えました。大正6年に岡山県で済世顧問制度が創設され、翌年の大阪府における方面委員制度、さらに全国的な広がりへとつながっていく民生委員制度100年の歴史は、地域において常に住民に寄り添い、献身的な活動をされてきた数多くの先達の努力の積み重ねであり、その歴史の重みとなっております。

今日、社会環境や経済状況の変容によって、様々な社会的、経済的格差が生じています。核家族化や生活の多様化により、高齢者や子育て世帯への支援、生活困窮世帯への対応等、課題が複雑化し、社会福祉法や児童福祉法をはじめとする福祉諸制度については改定が進められてきました。一方、東日本大震災以降の自然災害において地域の住民同士の支え合いが改めて重要視されているように、人と人との交流の希薄化が進む現代においては、地域住民が主体的に参加し、相互で支え合い、安心、安全で生活していく「地域共生社会」の実現が望まれています。その中で、住民と行政の橋渡し役であり、最も身近な相談相手である私たち民生委員児童委員への期待が一層大きなものになってきていると感じています。

今年7月に、大田区民生委員児童委員協議会は全国民生委員児童委員連合会から「優良民生委員児童委員協議会」の表彰を受けました。大田区民生委員児童委員協議会としては初めての受賞で、本当に嬉しく思います。受賞に際しては、これまでの区内18地区の単位民生委員児童委員協議会の運営と、委員一人ひとりが住民に対し親身に寄り添う活動が評価されました。地域の中で活躍される委員の皆様の日頃の労苦に改めて心から感謝申し上げますとともに、この受賞は、委員が丸となって行う地域に根差した民生委員児童委員活動の後押しになったと思います。

今回、大田区民生委員児童委員協議会として、初めての記念誌発行となりました。民生委員の活動の歴史や、区内18地区の活動内容について掲載しております。あわせて、各関係団体や歴代会長様からお寄せいただきましたお祝いのメッセージを掲載させていただきました。ご寄稿いただきました皆様には、この場をお借りしまして改めてお礼を申し上げます。本記念誌が、民生委員をご支援してくださっている皆様やこれから民生委員になられる方等に対しまして、活動内容をご理解していただく一助となればと思っております。

最後になりますが、大田区民生委員児童委員協議会は、全国民生委員児童委員連合会の新しい活動スローガンである「支えあう 住みよい社会 地域から」を常に心に留め、今後も誰もが笑顔で安全に安心して暮らせる社会が構築されるよう、歴代の民生委員の方々が培ってこられた歴史を踏まえ、さらに未来へつないでいけるよう、日々の活動においてその使命を果たしてまいり所存です。

これからも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 2. 寄稿



### 「民生委員100周年に寄せて」

おおたたくちやう  
大田区長  
まつばら ただよし  
松原 忠義

民生委員制度創設100周年、児童委員制度創設70周年を迎えたこと、誠におめでとうございます。

また、その記念すべき節目の年に、大田区民生委員児童委員協議会が優良民生委員児童委員協議会表彰を受賞されたことを大変誇りに思います。この優良民生委員児童委員協議会表彰は、自主活動の盛んな民生委員児童委員協議会に贈られるとのこと、本年は都内から3か所、全国では74か所の民生委員児童委員協議会が受賞されたと伺っております。民生委員児童委員の皆様お一人おひとりが自ら地域を歩いて状況を把握し、課題があれば支援につなげるという日々の活動とそのボランティア精神が多く、民生委員の皆様から受け継がれてきた積み重ねが、荣誉ある受賞に繋がったものだと思っております。

さて、民生委員制度が100周年を迎えた今年、大田区も区制70周年を迎えました。区では平成29年3月の70周年記念式典の中で「国際都市おおた宣言」を行いました。この宣言は、地域の担い手である区民の皆様とともに、「地域力」を結集して輝かしい未来に向かってはばたきたいという思いを込めて策定しました。自治会・町会をはじめ、地域を主として活動する団体が多く、地域の力の結晶のひとつが民生委員児童委員の充足率97%と高い割合となっていると思っております。

昨今、高齢者の諸問題をはじめ、老々介護や子どもの貧困など様々な課題が生じています。特に、子どもの貧困については世間でも大きくクローズアップされ、区では「おおた子どもの生活応援プラン」を策定しました。未来を担う子どもたちを温かく包み込む地域社会の実現、また着実な推進のためにも民生委員児童委員の皆様のお力が必要です。区も皆様と手を携え、全ての区民が自ら描く未来に向かい健やかに暮らしていけるよう、全力で取り組んでまいります。

民生委員児童委員の皆様には、区民の最も身近な相談役として、また区民と行政の橋渡し役として地域福祉の更なる推進に向けて、今後もより一層ご活躍くださいますよう、心よりお願い申し上げます。



# これからの100<sup>ねん</sup><sup>む</sup>年に向けて

民生委員制度は、100年前に防貧方策として岡山県で始まった濟世顧問制度に端を発しますが、貧困、災害時支援、児童虐待と様々な福祉課題に合わせて、担う役割が変化してきています。

最近では少子高齢化の進行、人間関係の希薄化、価値観の多様化などに伴う地域社会の変化により課題も様々となりました。

生活困窮者の増加、子どもや高齢者、障がい者に対する虐待、特殊詐欺などによる被害、認知症高齢者の行方不明、子どもの貧困など、従来の福祉の枠組みだけでは解決できない範囲にまで課題が広がっています。

このような状況の下、関係機関による支援を実現するためにはその連携の強化を意識した活動が必要となっています。

1年先すら不透明な今日、10年先、100年先の社会がどうなっているか想像が付きませんが、民生委員児童委員が地域に在って支援を必要とする方たちに寄り添い、見守り、相談に乗り、関係機関に橋渡しをするという100年間続いてきた取り組みは、いつの時代でも社会から求められる民生委員の根幹の役割であると信じています。

私たちは、そうした必要性を認識しつつ、時代の変化に対応できるように自己研鑽に努め、地域ネットワークの構築を一層進めていきたいと思えます。

大田区民生委員児童委員協議会

**民生委員制度創設100周年記念誌**

平成29年10月発行

大田区民生委員児童委員協議会事務局

大田区福祉部福祉管理課援護係

電話：03-5744-1245

# 民生委員児童委員信条

一 わたくしたちは隣人愛をもって  
社会福祉の増進に努めます

一 わたくしたちは常に地域社会の  
実情を把握することに努めます

一 わたくしたちは誠意をもって  
あらゆる生活上の相談に応じ  
自立の援助に努めます

一 わたくしたちはすべての人々と協力し  
明朗で健全な地域社会づくりに努めます

一 わたくしたちは常に公正を旨とし  
人格と識見の向上に努めます



©大田区

民生委員・児童委員PRキャラクター 大田区公式PRキャラクター

ミンジー

はねびよん